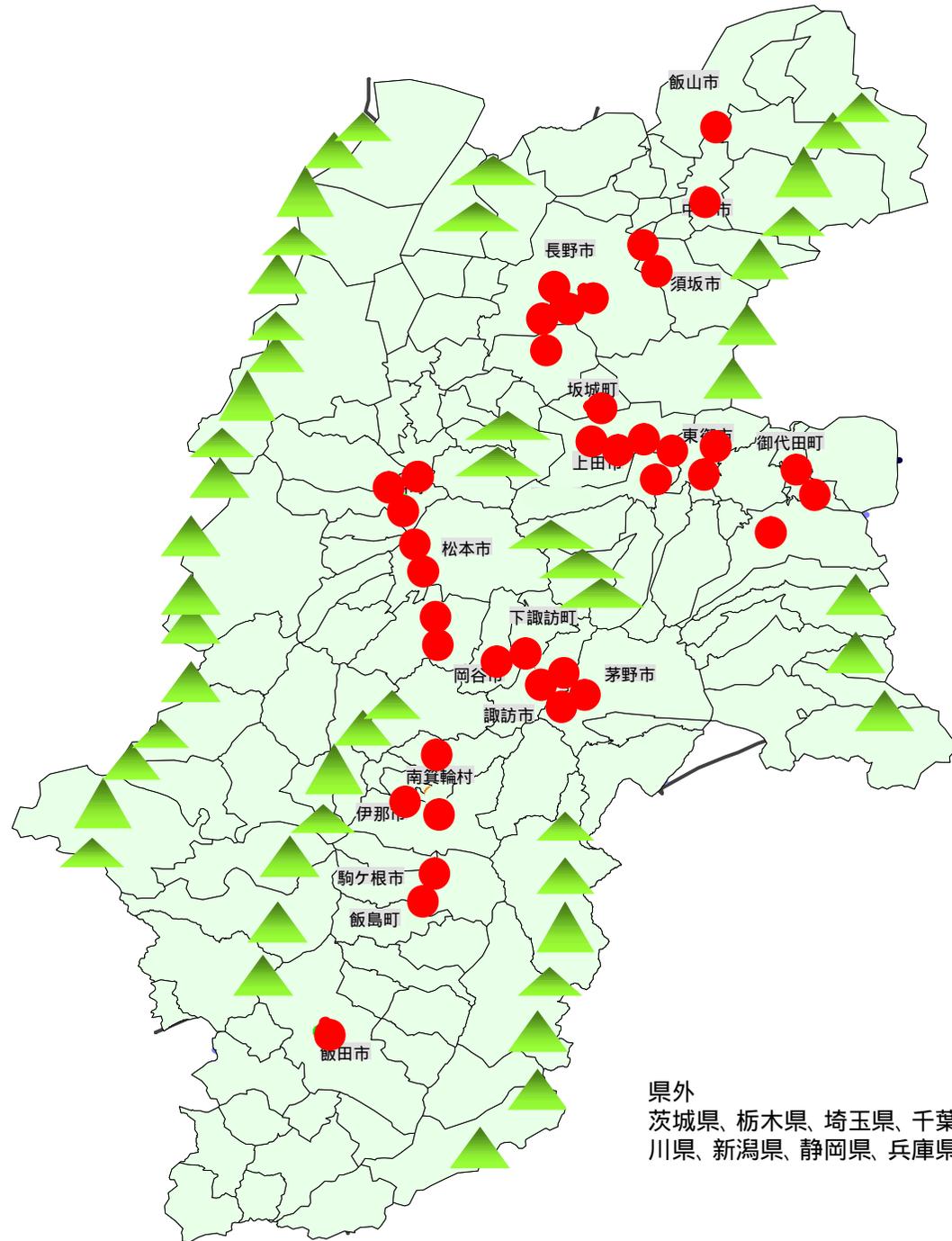




# 事業に参加 県内企業



県外  
茨城県、栃木県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川  
県、新潟県、静岡県、兵庫県、岡山県、愛媛県



# 目標と達成状況



平成21年2月末現在

項目	第 期		第 期(2年間)	
	目標	実績	目標	実績
特許出願件数	200	233	150	59
特許審査請求件数	32	41	30	56
商品化・事業化件数	15	21	11	6
大学発ベンチャー	7	7	8	2
サンプル等販売高(億円)	3.5	2.6	-	-
国、県支援施策採択件数	6	14	15	6



# 商品化・事業化の現状



## ステップ



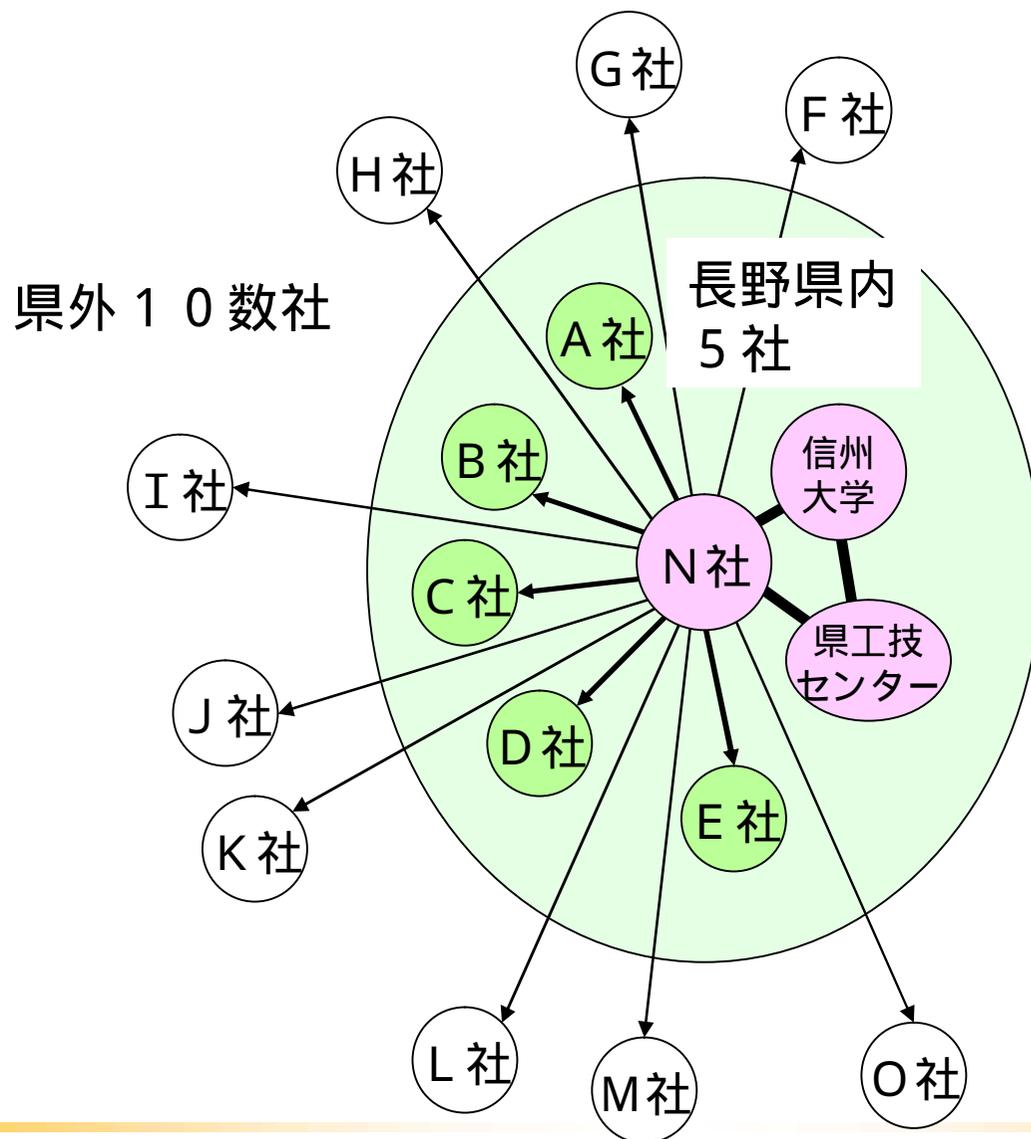
第 期事業で商品化・事業化の見通し件数：22件  
(ステップ2、ステップ3でプレス発表)

ステップ5：2件  
ステップ4：5件  
ステップ3：15件



# 地域活性化

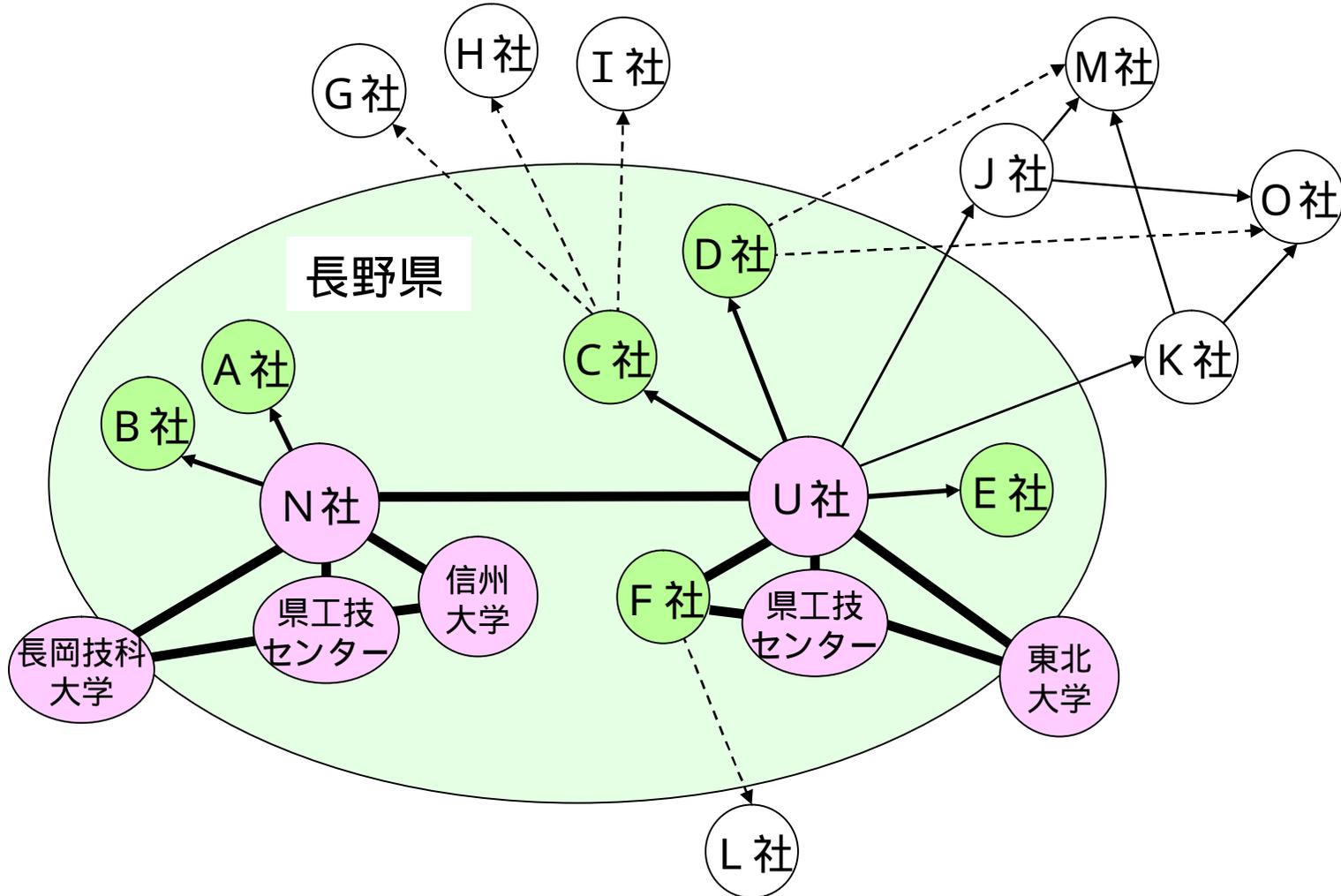
## 事例 1 (CNT 樹脂複合材)





# 地域活性化

## 事例2 (CNTアルミ複合材)



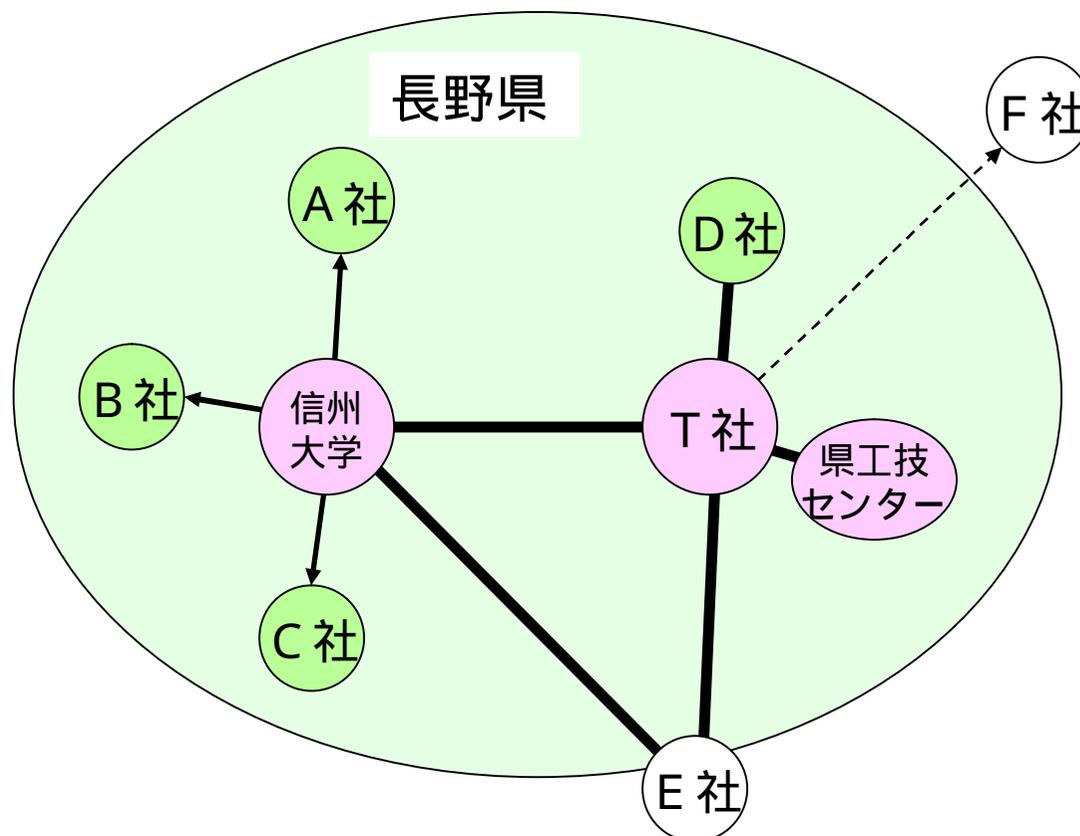
知的クラスター



サポイン



# 地域活性化 事例3 (高耐熱ゾルゲル)



知的クラスター



地域コンソーシアム

地域イノベーション創出研究開発事業へ提案中

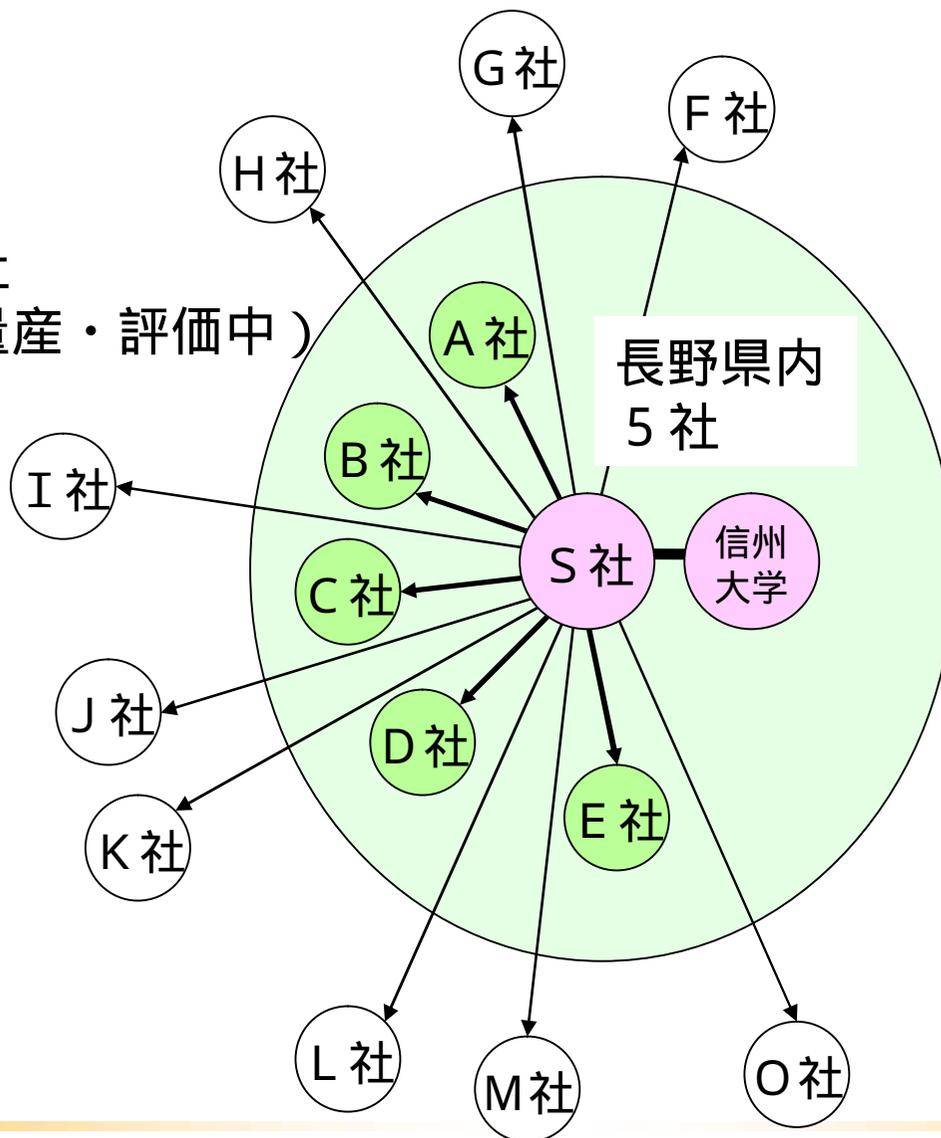


# 地域活性化

## 事例4 (Ag+CNT複合メッキ)



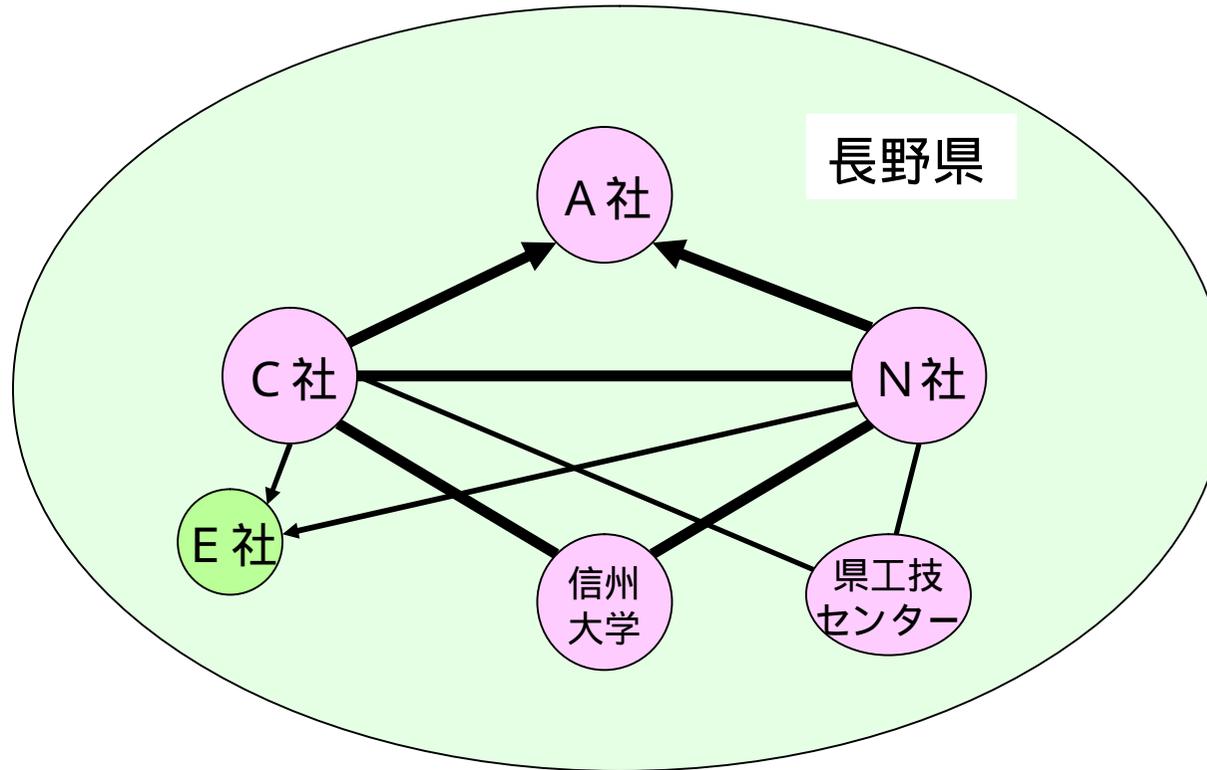
県外10数社  
(内3社は量産・評価中)





# 地域活性化

## 事例5 (CNT複合金属めっき) (Ni、Cu、Fe)



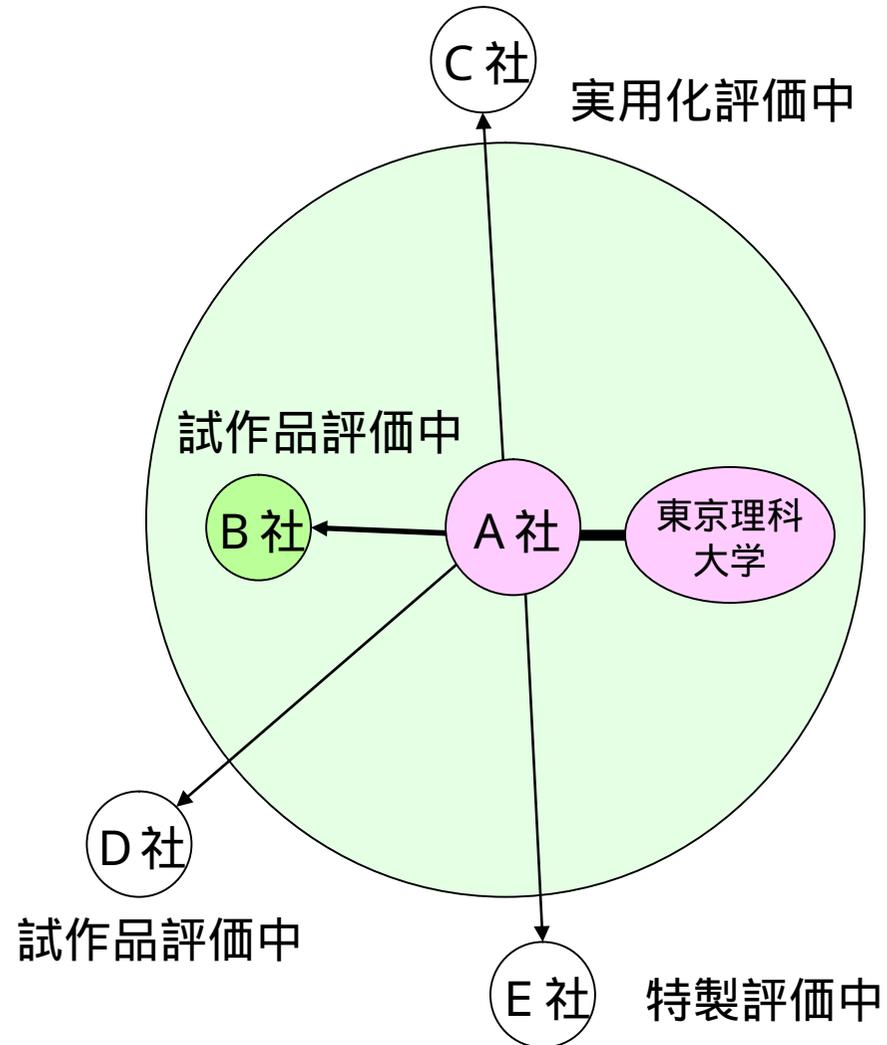
知的クラスター



サポイン



# 地域活性化 事例 6 (透明ナイロン)





# 事例にみるキーワード



- 1 . 研究機関の研究成果レベルが地域企業の実用化レベルに到達している。
- 2 . 商品化・事業化を地域企業のトップが決断する。  
（コーディネータの働きかけ）
- 3 . 商品化・事業化を促進するため、他府省連携事業を活用する。（官とコーディネータの支援）
- 4 . 複数の技術補完できる企業の参加でスピード化を図る。（官とコーディネータの働きかけ）
- 5 . 商品を活用する川下企業の参加で効率的な連携推進が図れる。



人材育成